

# 新機種紹介 機関誌編集委員会

## ▶ 〈02〉 掘削機械

|            |                                |                  |
|------------|--------------------------------|------------------|
| 14-〈02〉-15 | コマツ<br>油圧ショベル<br><br>PC200i-10 | '14.10 発売<br>新機種 |
|------------|--------------------------------|------------------|

GNSS (GPS+GLONASS)<sup>\*1</sup>アンテナと基準局から得られるバケット刃先の位置情報を施工設計データに照合しながら、設計面を傷つけないように作業機（ブーム、アーム、バケット）操作を制御する、世界初<sup>\*2</sup>の「インテリジェントマシンコントロール」を実現した油圧ショベルであり、昨年(2014年)導入のICTブルドーザーに続き、施工の自動化を目指した「ICT建機」である。

第1の特長は、バケットの刃先が設計面に達すると作業機が自動的に停止、また、アシスト機能で刃先が設計面に沿って動くため、オペレーターは掘り過ぎを気にせずに掘削作業が行えることである。従来施工と比べて丁張りや検測などの作業工程を大幅に削減でき、ユーザの施工効率と、機械周辺で作業補助する人員の削減により現場の安全性向上を図っている。

第2の特長として、KOMTRAX（機械稼働管理システム）と施工管理システムを統合して施工の「見える化」を図っていることである。コマツでは近い将来、Webサービスを通じて、現場における建設機械の稼働情報ならびに作業の進捗状況・運土量などの施工

表—1 PC200i-10の主な仕様

|   |                   |                        |
|---|-------------------|------------------------|
| 機械質量  | (t)               | 19.6                   |
| エンジン定格出力 ネット (JIS D0006-1)<br>[kW/min <sup>-1</sup> (PS/rpm)] |                   | 118/2000<br>(160/2000) |
| 標準バケット容量 (新JIS/旧JIS)  | (m <sup>3</sup> ) | 0.8/0.7                |
| 標準バケット幅 (サイドカッター含む)   | (m)               | 1.045/(1.170)          |
| 全長  | (m)               | 9.425                  |
| 全幅  | (m)               | 2.8                    |
| 全高  | (m)               | 3.135                  |
| 後端旋回半径  | (m)               | 2.75                   |



写真—1 コマツ PC200i-10 油圧ショベル  
(一部オプションが含まれる)

情報の効率的な一元管理を実現している。

情報化施工特有のGNSS測量技術 (GPS, GLONASS等) やICT機器管理のノウハウを持つグループレンタル各社から導入を開始し、一般ユーザにはレンタル車として提供される。情報化施工の普及に向け、同社の情報化施工のノウハウを活用し、ユーザ各社の現場へのスムーズな導入をサポートしていくとしている。

※1 Global Navigation Satellite System (グローバル衛星測位システム)

※2 コマツ調べ。市販ベースのクローラー式油圧ショベル、ホイール式油圧ショベルにおいて。

問合せ先：コマツ コーポレートコミュニケーション部  
〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6

|            |                                    |                  |
|------------|------------------------------------|------------------|
| 14-〈02〉-16 | ヤンマー建機<br>後方超小旋回型ミニショベル<br>ViO25-6 | '14.09 発売<br>新機種 |
|------------|------------------------------------|------------------|

機械質量2.5tの後方超小旋回ミニショベルである。キャビン・鉄クローラ仕様でクイックヒッチを装着しても3t以下のコンパクトサイズとし、3t積トラックでの輸送を可能としている。

エンジンルームの限られたスペース内に、ラジエータとオイルクーラを並列配置し、フィンの清掃性と冷却性能の向上を図ると共に、超低騒音型建設機械の基準に適合している。

2本支柱でTOPS (横転時乗員保護構造)、ヘッドガード (労働安全衛生法ヘッドガード基準) に対応し、また、クレーン仕様においては、吊り荷走行モードおよび高さ制限機能を搭載し、吊り荷作業等における安全性の向上を図っている。

LEDバックライト付き大型液晶モニターにより、異常時などに必要な情報を見やすく表示すると共に、稼働時間を最大3ヶ月表示して、モニターの利便性を向上させている。

表—2 ViO25-6の主な仕様

|                                   |                   |                    |
|-----------------------------------|-------------------|--------------------|
| バケット容量 (山積)                       | (m <sup>3</sup> ) | 0.08               |
| 最大掘削深さ                            | (m)               | 2.54               |
| 最大掘削半径                            | (m)               | 4.40               |
| 最大掘削高さ                            | (m)               | 4.46               |
| 機械質量                              | (t)               | 2.50               |
| 定格出力 (kW (PS)/min <sup>-1</sup> ) |                   | 15.2 (20.7)/2,500  |
| 走行速度 高速/低速                        | (km/h)            | 4.5/2.8            |
| 登坂能力                              | % (度)             | 58 (30)            |
| 接地圧                               | (kPa)             | 29.0               |
| 最低地上高                             | (m)               | 0.32               |
| クローラ中心距離                          | (m)               | 1.25               |
| クローラ全幅 (シュー幅)                     | (m)               | 1.50 (0.25)        |
| 全長×全幅×全高 (輸送時)                    | (m)               | 4.11 × 1.50 × 2.47 |
| 価格 (税抜き)                          | (百万円)             | 4.27               |

※仕様は、キャノピ、標準ゴムクローラ

新機種紹介



写真一2 ヤンマー建機 VIO25-6 ミニショベル（後方超小旋回型）

問合せ先：ヤンマー建機㈱ 開発部  
福岡県筑後市熊野 1717-1

|            |  |                      |
|------------|--|----------------------|
| 14-〈02〉-18 | 日立建機<br>油圧ショベル<br>（後方超小旋回型／超小旋回型）<br>ZX75US-5B / ZX75UR-5B | '14.12 発売<br>モデルチェンジ |
|------------|--|----------------------|

オフロード法 2014 年基準に適合した油圧ショベルであり、NOx（窒素酸化物）と PM（粒子状物質）の排出量を従来機と比較して削減し、日本・欧州（EU Stage III B）・北米（EPA Final Tier4）の排出ガス規制に対応しているほか、低騒音型建設機械の指定を受けている。

コモンレール式燃料噴射システム、クールド EGR、マフラフィルタを装備した新型エンジンにより、作業環境に応じたエンジン回転数の制御を行い、さらに油圧システムの改良により燃費効率を向上させている。新 ECO モードは、従来機の P モードと比べ同等の作業量において ZX75US-5B では約 15%、ZX75UR-5B では約 20% 燃費を低減しており、低燃費と作業性能を両立させている。また、機械を操作しない状態が続くと、自動的にエンジンが停止するオートアイドルストップ機能を新たに装備し、アイドル時の燃料消費を低減するとともに、排出ガスを抑制するなど環境にも配慮している。

キャブは足元空間を ZX75US-5B で 45 mm 拡大させたことで、2 モデル共に快適な運転空間としている。その他、キャブ内モニタに 7 インチの大画面カラーマルチモニタの採用や、スイッチ類を右操作レバー近くに集中配置するなど、キャブ内の操作性を向上させている。

安全面では、油圧ショベル転倒時にオペレータを保護する ISO 規格の ROPS（Roll-Over Protective Structures）に適合したキャ

ブを採用している。後方監視カメラは取付け箇所をエンジンカバー内部へ変更し、接触による破損の防止とカウンタウエイト直近の視界を向上させている。作業灯にはエンジン停止後 60 秒間点灯するディレイ機能を付け、夜間の安全性を向上させている。また、ZX75UR-5B はオートマルチチノシステム（干渉防止機能）に新型の角度センサを採用し、干渉防止機能の信頼性及び耐久性を向上させている。

メンテナンス面では、各フィルタ類を集中配置し、地上から点検・整備を容易に行えるようにしている。特にエンジンオイルの交換はドレンプラグにオイルドレンカバーを標準装備し、ドレン作業を簡素化している。また、熱交換器の目詰まりを防止する防塵ネットは一番外側に設置し、地上から容易に脱着できるようにしている。

すでに発売している ZAXIS-5 シリーズと同様に新車保障・メンテナンスプログラムを用意し、パワートレイン及びエンジン付属機器について延長保証するサービスや、各種無償メンテナンスサービス<sup>※1</sup>を提供している。

※1 メンテナンスサービスは、レンタル会社への販売時には付帯されない。

表一3 ZX75US-5B/ZX75UR-5B の主な仕様

|          |                         | ZX75US-5B  | ZX75UR-5B  |
|----------|-------------------------|------------|------------|
| 標準バケット容量 | (m <sup>3</sup> )       | 0.28       | 0.28       |
| 運転質量     | (t)                     | 7.2        | 8.49       |
| エンジン定格出力 | (kW/min <sup>-1</sup> ) | 41.8/2,000 | 41.8/2,000 |
| 最大掘削半径   | (mm)                    | 6,430      | 6,440      |
| 最大掘削深さ   | (mm)                    | 4,110      | 4,260      |
| 最大掘削高さ   | (mm)                    | 7,210      | 7,350      |
| 最大ダンプ高さ  | (mm)                    | 5,120      | 5,260      |
| 最大掘削力    | (kN)                    | 55         | 55         |
| 旋回速      | (min <sup>-1</sup> )    | 10.5       | 11         |
| 走行速度     | (km/h)                  | 3.1/5.0    | 3.1/5.0    |
| 全長       | (mm)                    | 5,880      | 5,980      |
| 全幅       | (mm)                    | 2,320      | 2,320      |
| 全高       | (mm)                    | 2,690      | 2,660      |
| 後端旋回半径   | (mm)                    | 1,290      | 1,290      |
| 最低地上高さ   | (mm)                    | 360        | 360        |
| 標準小売価格   | (万円)                    | 870        | 1,130      |

注) 価格は工場裸渡し、消費税別



写真一3 日立建機 ZX75US-5B 油圧ショベル（後方超小旋回型）

## 新機種紹介



写真-4 日立建機 ZX75UR-5B 油圧ショベル（超小旋回型）

問合せ先：日立建機株式会社 経営管理本部 広報戦略室 広報グループ  
〒112-8563 東京都文京区後楽二丁目5番1号

### ▶ 〈03〉 積込機械

|            |                                       |                  |
|------------|---------------------------------------|------------------|
| 14-〈03〉-10 | キャタピラージャパン<br>ホイールローダ<br><br>Cat 988K | '14.09 発売<br>新機種 |
|------------|---------------------------------------|------------------|

砕石・鉱山や土木などの積み込み作業に使用される大型ホイールローダである。

エンジンは、従来機より高出力であり、アフタートリートメント技術および尿素 SCR システムにより、オフロード法少数特例 2014 年基準同等に適合している。

ステアリングを使用しない時にステアリングポンプから作業機に油を回すことで、低いエンジン回転数でも作業機の油量を確保する油圧システムや、作業量の低下を最小限に抑えながら燃費を低減するエコノミーモードを装備している。また、APECS (Advanced Productivity Electronic Control Strategy) 制御方式のトランスミッションコントロールにより、加速性能や走行性能を高めるとともに、燃費の低減を図っている。

ROPS (転倒時運転者保護構造) / FOPS (落下物保護構造) 規格に対応する 4 ポストキャブにより、オペレータの安全を、標準装備のリアビューカメラ・モニタにより、後方視界を確保している。

時間当たり燃料消費量などの作業データを取得、管理できる VIMS (バイタルインフォメーションマネジメントシステム)、跳ね上げ式のレバーコンソールおよび大きな傾斜角度のアクセス階段などによりサービスの向上を図っている。

表-4 Cat 988K の主な仕様

|                     |                | Cat 988K      |
|---------------------|----------------|---------------|
| 運転質量                | (kg)           | 53,100        |
| 標準バケット容量 (山積)       | m <sup>3</sup> | 7.0           |
| 全長                  | (mm)           | 12,205        |
| 全幅 (車体)             | (mm)           | 6,545         |
| 全高 (キャブ上端まで)        | (mm)           | 4,260         |
| 最高走行速度              | (km/h)         | 34.7 (39.3*)  |
| エンジン名称              |                | Cat C18 ACERT |
| エンジン総行程容積           | (ℓ)            | 18.1          |
| 定格出力 / 回転数          | (kW / rpm)     | 403 / 1,700   |
| ダンピングリーチ (45 度ダンブ時) | (mm)           | 2,075         |
| ダンピングクリアランス         | (mm)           | 3,480         |
| 価格                  | (百万円, 税別)      | 99.53         |

※ロックアップクラッチ時



※掲載写真は国内標準仕様と一部異なります。  
写真-5 キャタピラージャパン Cat 988K ホイールローダ

問合せ先：キャタピラージャパン 広報室  
〒158-8530 東京都世田谷区用賀 4-10-1

### ▶ 〈04〉 運搬機械

|            |  |                  |
|------------|--|------------------|
| 14-〈04〉-02 | キャタピラージャパン<br>ダンプトラック<br><br>Cat 770G / Cat 772G | '14.09 発売<br>新機種 |
|------------|--|------------------|

採石・鉱山における原石運搬のほか、土木工事などで活躍するダンプトラックである。

エンジンは、従来機より高出力であり、排出ガス低減技術に加え、尿素 SCR システムにより、オフロード法 2014 年基準に適合している。

2 種類のエコノミーモード (標準エコノミーモード・アダプティブエコノミーモード) により稼働現場や車両の状況に応じた省燃費運転が可能である。また、APECS (Advanced Productivity Electronic Control Strategy) 制御方式のトランスミッションコントロールにより、スムーズなシフトチェンジを、またソフトウェアのアップデートにより、乗り心地や走行性能の向上と燃料消費の削

新機種紹介

減を図っている。

ベッセルは、底板の厚さを従来の 10 mm から 16 mm に上げ、また、箱型断面構造のフレームは、負荷の高い部分へ鋳鋼を使用、また、ロボット溶接箇所を増加することにより耐久性の向上を図っている。このほか、室内幅を拡大し居住性を高めたキャブ内に、車両・稼働状況の確認・各種設定が行えるアドバイザーディスプレイや

オートエアコン、パワーウィンドウ（左窓）、フットレストを装備している。

問合せ先：キャタピラー・ジャパン 広報室  
〒158-8530 東京都世田谷区用賀 4-10-1

▶ 〈07〉 せん孔機械およびブレーカ

表一 5 Cat 770G/Cat 772G の主な仕様

|                                  | Cat 770G      | Cat 772G      |
|----------------------------------|---------------|---------------|
| 最大積載量 (t)                        | 35.3          | 43.7          |
| 運転質量 (kg)                        | 35,950        | 38,350        |
| 最高速度 (km/h)                      | 73.7          | 79.2          |
| 全長 (mm)                          | 8,795         | 8,810         |
| 全幅 (タイヤ外幅) (mm)                  | 3,695         | 3,930         |
| 全高 (キャノピ上端) (mm)                 | 4,115         | 4,165         |
| エンジン名称                           | Cat C15 ACERT | Cat C18 ACERT |
| 総行程容積 (ℓ)                        | 15.2          | 18.1          |
| 定格出力/回転数 (kW/rpm)                | 356/1,700     | 410/1,700     |
| 速度段 (前進/後進)                      |               | 7段/1段         |
| ベッセル容量 (山積/平積) (m <sup>3</sup> ) | 25.2/17.6     | 31.2/23.9     |
| 価格 (百万円, 税別)                     | 70.12         | 80.04         |

|            |  |                  |
|------------|--|------------------|
| 14-〈07〉-01 | キャタピラー・ジャパン<br>油圧ブレーカ<br>H110Es / H115Es / H120Es / H130Es<br>/ H140Es / H160Es / H180Es | '14.07 発売<br>新機種 |
|------------|--|------------------|

11 トンから 76 トンクラスの油圧ショベル向けの油圧ブレーカである。

油圧源となる油圧ショベルとのマッチングで打撃力を発揮し、さまざまな岩石などを破碎する。また、トップマウントのブラケット<sup>\*1</sup>によりブレーカの持つ打撃性能を最大限発揮している。

ハウジング<sup>\*2</sup>は独自の対称構造を採用しており、ロックエッジ<sup>\*3</sup> 摩耗時には 180 度ハウジングを回転可能で、反対側のロックエッジを使用することで、摩耗の集中を防いでいる。また、亀裂を発生し難い一体構造のサイドプレート、負荷の集中を防ぐ曲面形状の前後面、および岩石などが破碎されると自動的に打撃を停止する空打防止機構を装備している。

動力部分をハウジング内部に収納するほか、油圧ブレーカ下部に緩衝装置を設けることで、作業時の騒音・振動を低減し、オペレータの疲労を軽減。また、チゼル<sup>\*4</sup>などのツール交換は、特殊な工具を使わずとも交換ができる。

※1 トップマウントのブラケット：ブラケットは油圧ショベルとブレーカを接合する装置。ブラケットによってブレーカの上部を油圧ショベルに装着することから、トップマウント（縦型）と言う。トップマウントに対し、ブレーカの横に張り出した



写真一 6 キャタピラー・ジャパン Cat 770G ダンプトラック

表一 6 H110Es / H115Es / H120Es / H130Es / H140Es / H160Es / H180Es の主な仕様

|                     | H110Es    | H115Es      | H120Es      | H130Es      | H140Es      | H160Es      | H180Es      |
|---------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 適用車両質量 (t)          | 11-18     | 12-20       | 16-27       | 18-36       | 24-42       | 32-55       | 42-76       |
| 運転質量 (含むブラケット) (kg) | 950-1,080 | 1,070-1,460 | 1,480-1,860 | 1,750-2,140 | 2,410-2,660 | 3,230-3,530 | 3,990-4,340 |
| 打撃数 (回/分)           | 450-1,000 | 370-800     | 350-620     | 320-600     | 325-540     | 400-505     | 275-450     |
| エネルギー (J)           | 2,712     | 4,067       | 4,745       | 6,101       | 8,135       | 11,524      | 16,270      |
| 作動油流量 (L/分)         | 60-120    | 70-130      | 100-170     | 120-220     | 120-220     | 220-300     | 220-300     |
| 作動圧 (kPa)           | 16,000    | 15,000      | 15,000      | 15,000      | 15,000      | 16,000      | 16,000      |
| 前後長さ (mm)           | 552       | 553         | 594         | 624         | 585         | 730         | 730         |
| 幅 (mm)              | 585       | 586         | 585         | 585         | 670         | 736         | 758         |
| 高さ (mm)             | 1,568     | 1,683       | 1,839       | 1,958       | 2,167       | 2,414       | 2,556       |
| ツール径 (mm)           | 99.5      | 109.5       | 119.5       | 129.5       | 139.5       | 159.5       | 179.5       |
| ツール突出長さ (mm)        | 496       | 549         | 598         | 647         | 652         | 753         | 760.5       |
| 価格 (百万円, 税別)        | 2.8       | 3.0         | 4.0         | 5.2         | 6.8         | 12.2        | 13.3        |

## 新機種紹介

ブラケットによって装着するタイプはサイドマウント（横型）と言われる。

- ※2ハウジング：ブレーカ内部の動力ユニットを覆うカバー。
- ※3ロックエッジ：ブレーカ本体部分の摩耗を防止するためにブレーカ本体の先端に装着されたガード。
- ※4チゼル：ブレーカの先端に装備される破碎ツールの一種。先端形状・名称の異なる3種類のツールを準備。



写真一七 キャタピラー・ジャパン Eシリーズ 油圧ブレーカ

問合せ先：キャタピラー・ジャパン 広報室  
〒158-8530 東京都世田谷区用賀 4-10-1

### ▶ 〈11〉 コンクリート機械

|            |   |                  |
|------------|---|------------------|
| 15-〈11〉-01 | 極東開発工業<br>定置式コンクリートポンプ<br>スクイズクリート<br>PQ30-22MT | '14.11 発売<br>新機種 |
|------------|---|------------------|

地盤改良工事（注）向けの定置式コンクリートポンプである。ポンピングチューブには圧力脈動を緩和するために開発したテーパチューブを採用し、このことにより薬液注入量管理の精度を向上し、作業効率の向上を図っている。

ポンプ制御にはインバータを使用し、最適な吐出量調整が可能である。異常時の過負荷を検出し自動で減速運転や強制停止させる安全機能を搭載している。電動モータの動力を、プーリー・ベルトを介してポンプに入力するシンプルな構造となっており、メンテナンス性の向上を図っている。チューブが破損した際にポンプの運転を自動停止するパンクセンサ、ドラム内部を真空状態に保つ真空ポンプの自動運転機能、理論吐出量計を搭載している。

（注）地盤改良工事はセメント系硬化剤などの薬液を地盤に注入し、建築基礎地盤の強度を確保する工法である。主要工法として地盤をドリルで掘削して軟弱地盤を薬液と混合して強化する方法などがある。一般的な地盤改良工事において薬液注入に使用される定置式ポンプには、薬液の注入量を管理する目的で圧送の脈動を緩和することが求められる。

表一七 PQ30-22MT の主な仕様

|                         |                     |                         |
|-------------------------|---------------------|-------------------------|
| 最大吐出量                   | (m <sup>3</sup> /h) | 30                      |
| 常用最高吐出圧力                | (MPa)               | 2.0                     |
| 瞬間最高吐出圧力 <sup>(※)</sup> | (MPa)               | 2.5                     |
| ポンピングチューブ               |                     | 4.75B-4B テーパー           |
| 電源                      |                     | 三相交流 200 V              |
| 電動機出力                   | (kW)                | 30                      |
| 電動機の制御                  |                     | インバータ                   |
| 全長×全幅×全高                | (m)                 | 約 2.665 × 1.340 × 1.835 |
| 重量                      | (t)                 | 約 2.4                   |
| 価格（税抜き）                 | (百万円)               | 10.23                   |

（※）瞬間最高吐出圧力：短時間のみ吐出可能な吐出圧力



写真一八 極東開発工業 スクイズクリート PQ30-22MT 定置式コンクリートポンプ

問合せ先：極東開発工業 三木工場 第三設計課  
〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴 2 番地

▶ 〈14〉 維持修繕・災害対策用機械および除雪機械

|            |   |                  |
|------------|---|------------------|
| 15-〈14〉-01 | ウエルツ<br>油圧ショベル用小型表面切削アタッチメント (フルコントルスディオ) FTDUO15/FTDUO25 | '14.10 発売<br>新機種 |
|------------|---|------------------|

道路の小規模補修や護岸、水路等の表面切削で使用される、ブレーカー配管を装着した油圧ショベル用の小型表面切削アタッチメントである。油圧ショベルの位置を変えずにさまざまな方向の切削が可能である。油圧で駆動する切削部分と車載バッテリーで駆動する旋回部分（付属配線キットで簡単に接続できる）とを連動させながらマンホール周り等の曲線部分を容易に切削できる。

切削深さの調整は、深さ調整シムを交換することで行う。深さ調整シムは大きく分けてコンクリート用シムとアスファルト用シムの2種類があり、工事用途によって使い分けられる（2種類以外の深さ調整シムは特注となる）。

コンクリート用シムを装着した場合は、1パス1cmの切削深さで（1パスは1回の切削操作）、コンクリートの表面を目視しながら数パス作業しながら少しずつ切削する。コンクリート柱の切削等では鉄筋を露出するまで切削できる。そのため橋の床版出し作業等では鉄筋やジョイントを避けて切削できる。また道路橋の床版出し工事におけるアスファルトの不陸箇所の剥離作業では、少しずつアスファルトを切削して効率よくコンクリート床版を露出させることができる。

コンクリート構造物の補修において、新旧コンクリートの打ち継ぎ目の処理では、人力施工では一定のはつり深さの維持が困難であり、マイクロクラックの発生により水分が侵入し、耐久性が落ちることもある。本機では、一定のはつり深さとマイクロクラックの少ない仕上がり面が得られ、かつ鉄筋を切らず粗骨材を傷めず、埋め戻しコンクリートが少なく済む。特に壁面切削の場合、高所足場が不要なため、安全でかつ作業時間を短縮できる。

アスファルト用シムを装着した場合は、1パス2.5cmの切削深さである。道路の小規模補修や、マンホール周りの切削では状況を確認しながら切削できる。さらに深く切削する場合は、同じ箇所を数パス作業する。2.5cmよりも浅く切削する場合は機体を切削方向に傾けると切削深さが浅くなる。

アスファルト道路の補修、特にポットホールや段差等の部分補修の場合、従来は、カッターでアスファルト層を広範囲に切断し、ブレーカーで破碎し、油圧ショベルで剥離除去後パッチング材を応急的に充填していた。本機では、アスファルト層の上面だけを部分的に切削除去するので、充填するパッチング材を少なくでき、かつ舗

装の強度低下を予防している。既設舗装の全層を打ち替えずに済むため、道路を早期解放できる。

「FTDU015」は3tクラス小型油圧ショベルに搭載して、4tトラックで搬送ができ、かつ道路占有幅が狭いので片側交通で作業可能である。ブレーカーや引き剥がし作業時に比べ振動や騒音が少なく周辺環境の改善を図っている。

表一 8 FTDU015/FTDU025の主な仕様

| 名称         | フルコントルスディオ 15    | フルコントルスディオ 25    |
|------------|------------------|------------------|
| 型式         | FTDU015          | FTDU025          |
| 自重 (kgf)   | 300              | 550              |
| 高×長×幅 (mm) | 1300 × 520 × 390 | 1450 × 560 × 480 |
| 旋回電圧 (V)   | 12               | 24               |
| 切削幅 (mm)   | 200              | 300              |
| 切削深さ (mm)  | 10・25            | 10・25            |
| 価格 (百万円)   | 4.45             | 4.80             |

(NETIS 番号「KT-140079-A」)



写真一 9 ウエルツ FTDU015 油圧ショベル用小型表面切削アタッチメント (フルコントルスディオ)

問合せ先：ウエルツ(株) 本社

〒143-0012 東京都大田区大森東 4-24-2